

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ

asahigloval.co.jp
 | gloval-mie.co.jp
 | super-chintai.com
 agg-hd.co.jp | goldtrust.co.jp
 | goldage.co.jp
 | kubokawayoshimichi.com



アサヒグローバル株式会社 代表取締役
 ゴールドトラスト株式会社 代表取締役
 ゴールドエイジ株式会社 代表取締役
 文/久保川 議道
 text:Yoshimichi Kubokawa

医療法人様へ『一言、申し上げます…。』

まず一言。在医総管の在宅診療は24時間365日で『体がもたない!!』はまず誤解です。

ゴールドエイジの『サ高住』であれば、ナースもヘルパーも生活支援もすべて24時間、高齢者の健康を管理していきまから、ドクターの仕事のお時間は週8時間から10時間です。それで1000人までの患者様を在医総管いたしました。一人当りの診療報酬を5万円から8万円とすると、毎月500万円、800万円と多額ですね。

夜間にドクターをお呼びすることは、サ高住のナース、ヘルパーの能力不足です。『恥ずかしいこと』です。ですから、基本的にドクターが夜間に呼ばれることはありません。11月に50人入居のゴールドエイジで『7人の看取り』をいたしました。ドクターは通常月とほとんど同じです。ここには一棟に60人の社員が居ますから、ドクターの負担はありません。ちなみに、50人入居に60人の社員(パート含む)を配置するとゴールドエイジの『サ高住』は赤字だとのこと心配には及びません。全11棟(644人分)の中で『番の収益』となつております。

さて次の一言は。サ高住の入居が心配。入居者が入らなければ、『赤字だ

からやらない』とドクターは言われませんが、これが第二の大きな誤解です。

結論から言いますと、ドクターが介護付き、医療付きの『サ高住』を開業して、『入居者が入らないはずはありません』。私達介護会社がやつても、努力すれば満室経営ができるのですから、ドクターがやれば『必ず入居は入ります』ね。

その理由を申し上げますと、戦中、戦後の一番苦しい時代を生きて来られた、今の高齢者ほど『強い人達』はいません。ですから、贅沢もせずお金も使いませんし、少しぐらいの介護も我慢します。しかし『病気には勝てないね!!』でドクターが居てくれることが『一番の幸せ』です。信頼できて尊敬できるドクターが居てくれることが『一番の安心』なんです。

ですからドクターが介護・医療付きの『サ高住』をやれば『満室』です。私は医療関係のセミナーでよく申し上げます。『これはドクターは介護をして下さい。』『私達、介護会社が医療をします。』です。私達が看護・介護の医療行為を行い、ドクターをサポートします。そして、ドクターが『サ高住を経営』していただいで、介護事業をやつただけであれば、高齢者が『大

安心』ですから、世の中のためです。日本の超高齢社会も救われます。そして国保請求も多額ですね。

もう一つ酷いことを申し上げますと、なぜ世界中、日本中の病院に内科・外科はあるのに『高齢科』『老人科』の専門ドクターが居ないのでしょうか。すみません。日本では人口の23%の3,000万人は65歳以上で、その中の17%の500万人が要介護の高齢者ですから、その専門のドクターが居ても不思議ではありません。と言うのが私の主張です。

ですから誤解を恐れずに申し上げます。75歳以上の高齢者の『医療看護・介護』は介護・医療付きの『サ高住』にお任せいただくことも、一つの新しい『医療の仕組み』になるのではないのでしょうか。それでもドクターがトップに居ていただいで、その下にナースだけではなく、専門の介護職員と専門の生活支援職員を置いていただければ、ドクターご自身が『体がもたない!!』と言うことはありません。

日本の新しい、高齢者の『医療』と『介護』の理想が実現できると私は考える次第です。はい。今回も失礼なことを多々申し上げましたことをお詫び申し上げます。